

申請書記入上の留意点

申請書の記入に当たっては、以下の点にご留意ください。

- 1 助成対象事業は、民俗芸能の保存・伝承活動です（募集要項「2 助成対象事業」参照）。これらの活動が見えにくい、汎用性の高い高額な機器の購入申請（例えばビデオカメラ、DVDレコーダーの購入など）や申請団体の年次活動、総会等に係る費用の申請などは対象とはなりにくいのでご注意ください。また、民俗芸能の道具（笛、太鼓、面等）ではなく本体（山車・屋台等（これらと一体となった提灯、人形等を含む））を修理・新調するものや法被、襦袢等の個人で使用するものも原則として助成対象となりませんので併せてご注意ください。
- 2 申請書に「別添資料の通り」とだけ記載し、別の資料等で説明することはおやめください。申請書の所定欄に必要事項を簡潔にお書きください。なお、写真、書籍などを参考資料として添付する場合には、A4サイズに編集統一のうえご提出ください（道具、衣装等の修理・新調の際は、必ず写真を添付願います）。また、説明のためのビデオテープやDVDは必要ありません。
- 3 申請書には「見積書」の添付が必要です。申請金額の妥当性を判断するだけでなく、申請事業に対する一部助成検討の際にも参考にしますので、必ず「見積書」を添付してください。
- 4 申請書の収支計画欄の記入例は以下のとおりです。

（記入例）

①対象活動の全体予算額 800,000円

②助成希望額 500,000円

支出の部		収入の部	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
太鼓新調（2台）	200,000円	本助成金	500,000円
舞台衣装補修（3着）	300,000円	補助金（〇〇市）	100,000円
ポスター印刷（1000部）	200,000円	寄付金（祝儀）	100,000円
篠笛・袋新調（10本）	100,000円		
		自己資金	100,000円
支出合計	800,000円	収入合計	800,000円

※収支金額の一致をご確認ください。

以上